

第 9 回定期演奏会の楽しみ方

私は吹奏楽や演奏会については、ずぶの素人で、高校生の吹奏楽コンクールに行って複数の高校の演奏を聴いても、何がどう違うのかよく分かりません。しかし、こんな私でも小学生の時は市の音楽会に参加し、ティンパニーという楽器を演奏していたのを覚えています。山間の小さな小学校でしたので、陸上・体操・相撲・水泳・音楽会・・・などの市大会があれば、突如〇〇部が結成され、極端にセンスのない者を除いて市大会出場に向けて活動します。こんなことからほとんどの子どもが、あれもこれもやるといった形で、複数の大会に参加していました。その一つの活動として音楽会に参加したものです。音楽会のメンバーに選出され、当時の中学校の吹奏楽部の先生から、中学校で吹奏楽をやらないかと誘われた私は、一時は中学校で吹奏楽をやろうかと舞い上がったりもしましたが、“才能ナシ！”を自分でも認め、体育系の部活動に進んでいきました。

このような経歴を持っている者が音楽や演奏会のことをとやかく言うのはおこがましいことだと思いますが、この原稿を依頼されたときに「校長先生のあいさつ文、期待しています！」と生徒にいわれたものですから、松江農林高等学校吹奏楽部第 9 回定期演奏会『松農 LAND 夢の時間をプレゼント』の楽しみ方について解説してみたいと思います。

(1) 聴いて楽しむ演奏会

まずはいろんな楽器やパートが合わさってできる一つの音楽を純粹に楽しむことです。自分の好きな楽器がどのようにその音楽の一部になっているか、聴きながら楽しんでください。今回は、話題となった映画音楽や松農オリジナルの J-pop メドレーなどさまざまなジャンルの音楽を取り入れるなど、選曲の工夫をしています。

(2) 感じて楽しむ演奏会

演奏される音楽ができた背景や作曲者の思いを感じながら聴くことも楽しみの一つです。例えば、「マードックからの最後の手紙」はタイタニック号沈没事故の悲劇をモチーフにした曲のようです。沈没事故の悲劇と一等航海士が家族や友人に宛てた手紙を感じながら聴いてください。

今日は、音楽や演奏会全体を通して、お客さんに日常生活を忘れ、夢のような楽しい時間を届けたいという思いを込めてこの演奏会をプロデュースしています。普段応援してくれている人たちに感謝の気持ちを伝えたい、という思いが届くでしょうか。

(3) 見て楽しむ演奏会

演奏者の真剣な姿や、指揮者と演奏者の関係が音楽にどう表現されているかを見ながら楽しんでください。指揮者によって音楽のテンポや音量が違うのもおもしろいところです。松農メドレーでは演奏だけでなく、歌ったり踊ったり変身したり・・・エネルギー弾けるステージをご覧くださいながら、お客さんも音楽を楽しんでいただくようにしています。

(4) 一緒に楽しむ演奏会

もともと音楽は楽しいものです。手拍子やリズムをとりながら演奏者とともに楽しんでください。選曲・演出・看板づくり等すべて生徒が企画し運営しています。さらに、会場ロビーには書道部をはじめとする本校文化部の作品を展示していますし、抽選会も企画しています。演奏だけでなく松江農林高校の雰囲気も含めて定期演奏会を楽しんでください。

最後に、生徒たちが気持ちを込めて企画・演出した、ちょっと遅めのクリスマスプレゼントを受け取ってください。

昨年度の定期演奏会の様子

